

# ナマステ！ ネパールふしき発見5年生

実践教科：社会・道徳・総合的な学習の時間  
対象学年：小学5年生3学級 対象人数：37名×3 計114名

大竹市立  
大竹小学校

梶田 晋作

●担当教科●  
算数

## 実践の目的

- ・ネパールで走っている車やオートバイを通して、日本の自動車工業について考え、日本が世界と深く関わっていることや日本の工業製品のすばらしさを知る。
- ・ネパールや世界の子どもたちと自分たちを比べる活動を通して、自分自身や自分の生き方を考える。
- ・ネパールの文化を知る学習を通して、異文化への興味関心を高め、外国の文化を尊重する気持ちをもたせる。

## 授業の構成

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
事前	<テーマ> 「世界のことを知ろう」 <ねらい> 読み聞かせを通して世界に目を向けるきっかけとする（朝読書の時間）	(1)絵本「もったいないばあさんと考えよう・世界のこと」を読む (2)世界の子どもの様子や世界で起こっている10の問題を知る	・絵本
1	<テーマ> 「世界で活躍する 日本の工業製品」 <ねらい> ネパールで走っている日本の車やオートバイを通して、日本の工業製品のすばらしさを知る（社会科）	(1)ネパールの概要を知る (2)ネパールの車やオートバイの写真を見る (3)気がついたことを発表する (4)どうして日本の車やオートバイがたくさん走っているのか（選ばれているのか）を班で話し合う (5)ネパールの写真を見ながら正解を知る (6)学習をふりかえり、感想を書く	ネパールの車や オートバイの 写真  ワークシート①  模造紙 付箋
2	<テーマ> 「同じ地球に生きている」 (国際理解・国際親善) <ねらい> 外国の人々との相違に気づき、それを大切にしながら国際親善に努めようとする心情を育てる（道徳）	(1)資料「同じ空の下で」の前半を読む (2)自分の「宝もの」「悲しいとき」「幸せなとき」を書く (3)ネパールの子どもたちの様子と比べる (4)資料「同じ空の下で」の後半を読む (5)自分たちにできることはないかを話し合う (6)班で話し合ったことを紹介する (7)スライドショー「子どもたちの夢」を見る (8)学習をふりかえり、感想を書く	道徳 「同じ空の下で」 (東京書籍)  ワークシート②  模造紙 付箋  スライドショー
3 ・ 4	<テーマ> 「ネパールの文化」 (異文化理解)	(1)ネパールについての○×クイズをする (2)正解の写真を見せながら発表し、ネパールの文化を紹介する	ネパールの写真

		(3)質問に答える (4)チヤを飲みながら、学習をふりかえり感想を書く	トビ（帽子） クルタスルワール（女性服）
3 ・ 4	<ねらい> ・ネパールの文化を知ることで世界の国々の文化への興味関心を高める ・ネパールの食文化を通して、自分たちの食生活をふりかえる (総合的な学習の時間)		チヤ (ネパールミルクティー)
事後	<テーマ> 「同じ地球に生きている」 (国際理解・国際協力) <ねらい> 世界の子ども達の夢の背景を知り、自分たちにできることへの意欲を高める	(1)ビデオ「ゴミ捨て場に生きる人々」を見る (2)掲示コーナーを見学する (学習のまとめの掲示・ネパールグッズの展示)	DVD 「ゴミ捨て場に生きる人々」 (書籍「最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命に生きること」添付ビデオ)

## この授業に注目！

### ①眼目 ナマステ！ネパールふしき見見①

「世界で活躍する日本の工業製品」(社会科)

ねらい：ネパールで走っている日本の車やオートバイを通して、日本の工業製品のすばらしさを知る。

まずはネパールの概要を紹介して、学習への興味関心を高めた。次に、ネパールで走る車やオートバイの写真見せて、気づいたことを出し合った。(フォトランゲージ)

その後、どうして日本の車やオートバイが多いのか(選ばれているのか)を班で話し合わせた。方法は、いろいろな意見がみんなから出てくるようにK J法(※)を使った。

※K J法：文化人類学者川喜田二郎がデータをまとめるために考案した手法。データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し、論文等にまとめてゆく。K Jは考案者のイニシャルにちなむ。共同での作業にもよく用いられ、「創造性開発」(または創造的問題解決)に効果があるとされる。



写真① フォトランゲージ



写真② 車K J法

### 児童の反応

- ・「スズキ」「トヨタ」「ミツビシ」・・・日本の車がたくさんあるよ。
- ・オートバイも「ホンダ」「ヤマハ」とかいてあるよ。
- ・日本の車やオートバイがかつやくしているとうれしい気持ちになるよ。
- ・日本の車やオートバイは性能がよく、みんなの役に立っているのですごいな。

### 所 感

- ・児童の感想（学習のふりかえり）の中に、「うれしかったのはネパールの人たちが日本の車やいろんな物を好きと行ってくれたこと」という感想があった。今回の学習で、ネパールに親近感を持ってくれたことはうれしいことである。
- ・「日本は技術が高いのだなあ～と思い日本にはこりがもてた。」「日本車の技術はとても高いことが分かった。日本は恵まれた国なんだと思った。」等があり、学習を通して日本をふりかえることができていた。
- ・「自分の生活を振り返って、そんなにぜいたくをせずに相手のことを思って生活しなければならないと思った」  
「ネパールの生活を見ると、日本でくらしているのは、すごくこうかなんだと思った」等、自分の生活についても考えることができたのは大きな成果である。

## ②眼 目 ナマステ！ネパールふしき発見② 「同じ地球に生きている」（道徳）

ねらい：外国の人々や異文化の中に、自分と共有される多くの感性や思いがあることに気づいたり、相違点を発見したりすることを通して、国際親善に努めようとする心情を育てる。

まず、道徳資料の「同じ空の下で」の前半部分を読み、世界各国の言葉やあいさつなどに興味をもたせた。

次に、自分たちとネパールの子どもたちの「たからもの」「悲しい気持ちになるとき」「幸せを感じるとき」の3点を比べる活動を行い、「同じ」心や思いをもっていることを知ることができた。

児童から出された意見	ネパール（ラトバンガラ中高）生徒アンケート結果
 写真③「ホワイトボード」	
<p>＜大切なものの＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・家族</li><li>・友情</li><li>・野球道具</li><li>・食べ物</li><li>・水</li><li>・家</li><li>・ゲーム</li><li>・友だち</li><li>・命</li><li>・サッカーボール</li><li>・空気</li><li>・お金</li><li>・自分</li><li>・ペット など</li></ul>	<p>＜大切なものの＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①家族</li><li>②友だち</li><li>③勉強・教育</li><li>④仕事</li><li>⑤自分</li><li>⑥お金</li><li>⑦良い成績</li></ul>

<p>＜悲しいとき＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死（身内や知っている人が亡くなったとき）</li> <li>・友だちとけんかしたとき</li> <li>・しかられたとき</li> <li>・悪口をと言われたとき</li> <li>・後悔したとき　・病気になったとき</li> <li>・うまくいかないとき</li> <li>・負けたとき　　・朝起きるとき　など</li> </ul>	<p>＜悲しいとき＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①成績が悪かったとき</li> <li>②人や両親の期待にそえないとき　　自分のすることができないとき</li> <li>④ものが手に入らないとき</li> <li>④お金が無くなったとき</li> <li>④ストレスを感じるとき</li> <li>④友だちがいなくてひとりぼっちのとき</li> </ul>
<p>＜幸せなとき＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと遊ぶとき　・家族とすごすとき</li> <li>・ごはんをいっぱい食べたとき</li> <li>・成功したとき（うまくいったとき）</li> <li>・ほめられるとき</li> <li>・テストで100点をとったとき</li> <li>・ほしいものが手に入ったとき</li> <li>・おいわいしてもらうとき　　・誕生日</li> <li>・優勝したとき　　・寝ているとき</li> <li>・ゲームをしているとき　　など</li> </ul>	<p>＜幸せなとき＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①友だちといふとき</li> <li>②家族といふとき</li> <li>③目的が達成できたとき</li> <li>④ほしい物が手に入るとき</li> <li>⑤したいことができるとき</li> <li>⑥いつも幸せ</li> <li>⑦ストレスも問題もないとき</li> <li>⑦宿題やテストがないとき</li> <li>⑦努力が認められたとき</li> </ul>

次に、道徳資料「同じ空の下で」の後半部分を読み、うえやましさのために苦しんでいる子どもが多くいることを知り、自分たちに何かできることはいかを考えさせた。



写真④ 道徳付箋  
付箋をもとに意見をまとめる児童



写真⑤ 付箋完成掲示  
できあがった模造紙

最後に、子どもたちの夢がかなう幸せな世界を願い、学級の子どもたちの夢と世界の子どもたちの夢のスライドショーを見て、今日の学習のふりかえりを行った。

### 児童の反応

- ・たくさん発表できたり、班で話し合いができてよかったです。
- ・ぼくたちとネパールの子どもたちの思いは似ているなあ。
- ・世界にこれほど苦しんでいる人たちがいるなんて知らなかった。
- ・何か自分できることをひとつでもしてみたいな。
- ・私たちの夢と世界の子どもたちの夢はすこしちがうぞ！？
- ・みんなのために役立つことも考えていきたくなつたよ。



写真⑥ 夢スライドショー  
スライドショーを見る児童



写真⑦ ふりかえり  
ワークシートにふりかえりを書く児童

### 所 感

- ・「大切な物」「悲しいとき」「幸せなとき」は考えやすく、発表しやすい内容であり、学習に課題がある児童も積極的に参加できた。
- ・ネパールの子どもたちのランキングの上位は、児童に予想させながら発表すると盛り上がった。
- ・自分たちとネパールの子どもたちは、「同じ」心や思いをもっていることがわかり親近感がもてたようだ。
- ・夢のスライドショーでは、世界の子どもたちの夢になると静まりかえった。自分たちと少し「ちがい」があることに気づいたからだ。自分たちをふりかえる大きなゆさぶりとして効果的であった。

## ③・④眼目 ナマステ！ネパールふしき覗見③

「ネパールの文化」（総合的な学習の時間）

ねらい：ネパールの文化を知ることで世界の国々の文化への興味関心を高める。

ネパールの食文化を通して、自分たちの食生活をふりかえる

まず、ネパールの○（ティック）×（ガルティ）クイズを行い、児童の興味関心を高めた。  
次に、10問の問題の正解写真を見せながら発表して、ネパールの様子を紹介した。

質疑応答の後、各教室でチャヤを飲んだ。映像だけでは伝わらないネパールのにおいや味を体験でき、児童は感動していた。

### ○（ティック）×（ガルティ）クイズ

- ① ネパールはアフリカ大陸にある。
- ② ネパールの面積は北海道の1.8倍である。
- ③ ネパールの首都は「カトチャンズ」である。
- ④ ネパールでは仲のよい男子は手をつないで歩く。
- ⑤ ネパールの子ども達はみんな学校に通っている。
- ⑥ ネパールのタクシーはすべて中国で作られたスズキの車である。
- ⑦ ネパール人は牛肉が大好物である。
- ⑧ ネパールではエベレストやヒマラヤからのきれいな水が飲める。
- ⑨ ネパールでは「チャヤ」とよばれるお茶をよく飲む。
- ⑩ ネパール人は食事をするとき手で食べる。



写真⑧ ネパール衣装  
衣装を着た男女児



写真⑨ チヤ  
チヤをおいしそうに飲む児童



写真⑩ チヤ  
チヤをおいしそうに飲む児童

### 児童の反応

- ・日本と似ているところやちがうところもあるけど、同じ空の下だから仲間だと思った。
- ・命、水、食べ物を大事にしたいな。
- ・自分の生活を改めていこうと思う。
- ・初めて知ることが多く、もっと世界のことが知りたくなったよ。
- ・ネパールでは日本みたいに裕福な人は少ないけれど、写真を見るととても幸せそうな顔をしていた。

### 所 感

- ・ネパールの文化について驚きも多かったが、もっとたくさんのが知りたいと感じていた。
- ・児童は、知ることで考える、そして行動へと結びつくのだとあらためて感じた。
- ・たくさんの写真や映像を見せてあげたいと考えたが、数より質だと感じた。
- ・学年全体で授業をしたが、やはり人数が多いと児童の反応が見えにくい。学級単位で行ったほうがよかったです。
- ・ワークシートを読むと、とてもよい発見があったり、深く考えていたりしていることが分かった。

## 全体を通しての成果と課題

ネパールを通して「～を考えさせる」という視点で授業を展開したので、世界や日本そして自分へと考えや思いをはせることができた。児童には、授業後に感想（ふりかえり）を書かせたことが大変よかったです。児童が学習をふりかえることができるだけでなく、児童の考え方や思いを把握することができ、次時の学習に活かすことができた。学習を通して、「自分たちにできること」をやってみたいと考える児童が出てきたことがうれしかった。少額ではあるが、ユニセフに募金ができたことは、これから的生活や行動につながるよい経験になったと思う。

参加型の手法として、フォトランゲージとKJ法を活用した。授業後に数名の児童から写真についての質問があるなど、改めて写真や映像の力の大きさを実感した。話中心ではなくなかなか児童全体には伝わりにくい。写真や映像にコメントをすることで深まる。しかし、量よりも質であると感じた。こちらが意図するものをじっくりと見せることで、深く考えさせることができると感じた。KJ法を2回取り入れたが、5年生の児童にも十分使える手法である。授業後に掲示することもできるので大変役立った。

児童の反応や質問から、事後のビデオ上映を企画した。児童の疑問や要望にしっかりとこたえることができてよかったです。担任をもっていないので、朝読書の時間や昼休憩も使うなど、時間を有効に使って実践できたと思う。

課題としては、授業の流れや順番にもう少し工夫があればよかったと思う。また、学年全体で

の授業も行ったが、少人数の方が児童の反応が見えるし、こちらのメッセージも伝わりやすいと思った。

本研修でお世話になったJICAの皆様、そして授業実践をするにあたり、ご協力をいただいたすべて皆様に感謝申しあげます。ありがとうございました。

## 参考資料

### 【書籍】

- ・「地球の歩き方」編集室 「地球の歩き方ネパールとヒマラヤトレッキング'11～'12」  
ダイアモンド・ビッグ社
- ・真珠まりこ 著 「もったいないばあさんと考えよう世界のこと」 講談社
- ・池間 哲郎 著 「最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命に生きること」 現代書林
- ・池間 哲郎 著 「あなたの夢はなんですか？」 致知出版社

### 【映像資料】

- 池間 哲郎 著 「最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命に生きること」 (DVD付)  
現代書林

### 【インターネット】

- ・「世界の子どもたちの夢」 <http://homepage1.nifty.com/RED-SILVIA/sekainok01.htm>
- ・日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp/>

# ナマステ！ ネパールふしき発見

5年 組 番

めあて

ネパールの学習を通して日本のことや自分の生活を考える。(ふり返る)

<ふりかえり>

日本の車やオートバイのこと 自分の生活について考えたことを書きましょう。




① 大切なもの



② 悲しいとき



③ 幸せだと感じるとき



④ 今日の道徳をふり返って、思ったことや考えたこと



⑤ 梶田先生へ 聞いてみたいこと（質問）などあれば・・・

ナマステ！ネパールふしき発見  
5年総合的な学習の時間  
『ネパールの文化』

組 番  
名前

<1>

<input type="radio"/> ていーっく <input checked="" type="checkbox"/> がるてい	メモ欄	<input type="radio"/> ていーっく <input checked="" type="checkbox"/> がるてい	メモ欄
①		⑥	
②		⑦	
③		⑧	
④		⑨	
⑤		⑩	

<2> 日本がわすれかけている大事なこと

[Large empty box for writing]

<3> 今日の道徳をふり返って、思ったことや考えたこと

[Large empty box for writing]

**<5年1組> キーワード：募金活動・はげまし・食べ物を残さない・助け合う・貿易をさかんに・応援・物を大切に・精一杯生きる。ボランティア・活動に参加・リサイクル・環境をきれいにする・願う・祈る・募金活動**

- ・はげます（インターネットで呼びかけ）
- ・食べ物を残さない。
- ・無駄遣いをしない。
- ・物を大切にする。
- ・物を送る。（食べ物・薬・手紙）
- ・リサイクルをする。
- ・助け合う。力を合わせる。
- ・世界のみんなが協力する。
- ・その国との貿易を盛んにする。
- ・応援する。
- ・精一杯生きる。
- ・ボランティア
- ・活動に参加する。（困っている人のための）
- ・環境をよくする。
- ・願う。祈る。



**<5年2組> キーワード：募金・寄付・環境・大切にする・思いやり・輸出・協力・食べ物を大切に・リサイクル・エコ・戦争しない・ボランティア・大切・感謝・募金をする。**

- ・物を寄付
- ・リサイクルをする。
- ・水をよごさない。
- ・節電節水をする。
- ・命をそまつにしない。
- ・人を大切にする。
- ・産業をどんどん伝えていく。
- ・人を大切にする。
- ・手紙を書く。
- ・ボランティア
- ・命を大切にする。
- ・やさしい心をもつ。
- ・人として精一杯生きる。
- ・医者を送る。
- ・願う
- ・食べ物に感謝
- ・命に感謝
- ・幸せに感謝
- ・リサイクルリユース



**<5年3組> キーワード：輸出・募金・インターネットで調べる・土地改良・医者を送る・支援物資・薬・友達になる・物をそまつにしない・リサイクル・命を大切に・人を思う・寄付・人の派遣・エコ・知らせる・手伝い**

- ・募金（ユニセフ）する。
- ・寄付する。（ワクチン・食べ物・水など）
- ・友達になる。
- ・物を輸出する。（水・食糧・服やくつ・遊べるもの）
- ・お手伝いをする。
- ・自然破壊をしない
- ・エコをする。物を無駄にしない。
- ・ごみを減らす。
- ・水をあげる。
- ・その人の分までがんばる。
- ・世界や外国に大変なことがあると知らせる。
- ・みんなに苦しんでいる人がいることを教える。
- ・みんなのためになるものを作る。（井戸など）
- ・安く輸出する。
- ・命を大切にして生きる。
- ・むだに物を使わない。
- ・相手のことを思う。
- ・やさしい気持ちをもちたい。
- ・インターネットで調べる。
- ・文通をして悲しませないようにする。



**何かひとつでも…一歩ふみ出して行動できたらいいね。**